
〈特集〉

翻訳をめぐるって

平成17年10月29日（土）に「実践英文学会平成17年度大会」が、渋谷の実践女子学園中学校・高等学校桃夭館2階 プレゼンテーション・ルームで開催された。第一部は修士論文の中間発表であり、第二部は「翻訳をめぐるって—語学・文学からのアプローチ」と題して、報告及び討論を行い、引き続き東京外国語大学名誉教授の志村正雄氏の講演が行われた。

「翻訳をめぐるって」は、ヘリオット・ワット大学のイアン・メーソン教授からメッセージをいただいただけでなく、文学の研究者からの報告に加えて、英語学および国語学の研究者からの報告というように、領域横断を意図するものであった。翻訳といえば、実践するものという意識が根強くあるが、翻訳の理論が模索されてもいいのではないだろうか。

それぞれの研究領域からの翻訳に関する報告を踏まえて、翻訳に関する論議が深まることを願うものである。

（司会・植野達郎）